

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	電気英語コミュニケーションⅠ
科目基礎情報						
科目番号	93028		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	電子機械工学専攻M		対象学年	専1		
開設期	後期		週時間数	1		
教科書/教材	「めざせ100万語！読書記録手帳」SSS英語学習法研究会 ISBN978-4902091267、Cambridge English Readers Level 3 (CER3)他、英文多読用図書					
担当教員	セルトマン、 禅、ラファエル					
到達目標						
(ア)日本語を介さずに理解できる英文の水準を自ら選び、自律的・継続的に読書することができる。(g) (イ)基本語1300～1400語水準 (YL3.6) の英文を、連続して75分以上読み続けることができる。(f) (ウ)基本語1300～1400語水準 (YL3.6) の英文を、毎分100語以上で読み、概要を把握することができる。(f) (エ)課外学習も含めて、1年間で延べ12万語以上の易しい英文を読んでいる。(g) (オ)TOEIC470点相当以上の英語コミュニケーション能力を有する。(f)						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目(ア)	日本語を介さずに理解できる英文の水準を適切に判断することができる。		自ら、日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができる。		日本語を介さずに理解できる英文の水準を見つけることができない。	
評価項目(イ) (ウ)	基本語1300～1400語水準 (YL3.6) の英文を、毎分100語以上で連続して75分以上読み続けることができる。また、その内容を詳しく把握することができる。		基本語1300～1400語水準 (YL3.6) の英文を、毎分100語以上で連続して45分以上読み続けることができる。また、その概要を把握することができる。		基本語1300～1400語水準 (YL3.6) の英文を、毎分100語以上で45分読むことができない。または、その概要を把握することができない。	
評価項目(エ)	継続的な課外学習により、延べ24万語以上の英文を読んでいる。		継続的な課外学習により、延べ12万語以上の英文を読んでいる。		課外学習による英文読書量が、延べ12万語に達しない。	
学科の到達目標項目との関係						
本校教育目標 ④ コミュニケーション能力						
教育方法等						
概要	技術のグローバル化に伴い、英語によるコミュニケーション・スキルの習得は、電気・電子技術者にとり不可欠となっている。本講では、やさしい英文を日本語を介さずに大量に読み聴く多読・多聴をベースに、正確さよりも流暢性を優先した演習を行う。また、自律的、継続的な学習スタイルを確立することを目指す。					
授業の進め方・方法	各自がその週に読んできた英文図書を紹介するブックトーク（英語で、3分程度）と質疑応答（英語で、3分程度）を中心に行う。 （自学自習内容） ブックトークで紹介する英文図書を読んでくる。					
注意点	TOEIC440点程度の英語コミュニケーション能力を持つことを想定して授業を行う。課題評価は、読書記録（10%、2022年3月～2023年2月の累積）、および、外部試験（30%、2022年3月以降に受験したTOEIC IPCまたは公開受験結果）により行う。					
選択必修の種別・旧カリ科目名						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ブックトークの進め方 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	日本語を介さずに英文を理解する、多読の読み方を理解し、実践できる		
		2週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる		
		3週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる		
		4週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる		
		5週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる		
		6週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる		
		7週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる		

4thQ	8週	中間試験：基本語1300～1400語水準（YL3.6）の初見英文リーディング試験	YL3.6程度の英文を、毎分100語以上で連続して75分以上読み続けることができる。また、その概要を把握することができる。
	9週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる
	10週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる
	11週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる
	12週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる
	13週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる
	14週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答 （自学自習内容）次回ブックトークで紹介する本を各自で選び、読む	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる
	15週	ライティング演習（5分間、ブックトークの内容整理） ブックトークと質疑応答	YL3.6以下のやさしい英文を読み、その概要を英語で説明するとともに、英語で質疑応答できる
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	中間試験	定期試験	課題	合計	
総合評価割合	10	50	40	100	
専門的能力	10	50	40	100	